

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック 2009」 募集開始

財団法人日本地域開発センターでは、“躯体と設備をセット”で考えた、トータルでスマート(省エネルギー)な住宅(オール電化住宅)“をテーマに、10月14日から「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック2009」の募集を開始いたします。

◆「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック2009」

全国のオール電化住宅を対象に、外皮性能と主要設備機器を一体として評価した定量的省エネルギー性能に加えて、独自の工夫・先進性、快適性・安全性などと省エネルギー性との融合、省エネルギー住宅の普及・貢献など、次の4つの視点からトータルでスマート(省エネルギー)な住宅を審査委員会で選定し、「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック2009」として表彰します。

- | |
|---|
| <p>視点1: 外皮と設備を一体として評価した場合のエネルギー効率値
定められた仕様条件の下で、暖冷房・換気・給湯、照明用エネルギーの消費量を算定し、省エネルギー性能値を評価(太陽光発電、太陽熱給湯の効果も考慮)
・省エネルギー性能の計算方法については、政府が定めた「住宅事業主の判断基準で用いられた計算方法に準拠することとします。(詳細は、別途応募要領)にて公表)</p> <p>視点2: トータルな省エネルギー性能向上のための工夫と先進性(数値で表現できない取組等)
設備・外皮設計等における工夫、空間設計の工夫、住まい方への提案(販売時、居住時)等</p> <p>視点3: 他の性能と省エネルギー性とのバランス・連携。
快適性、安全性、耐久性、利便性、品質保証等とのバランス連携 等</p> <p>視点4: 応募した省エネ住宅の普及に関わる取組。
コストパフォーマンス、省エネ住宅供給実績(数、割合)、その他普及努力 等</p> |
|---|

◆審査体制:ハウス・オブ・ザ・イヤー審査委員会

委員長: 伊藤 滋 早稲田大学特命教授 (財団法人日本地域開発センター会長)
副委員長: 坂本 雄三 東京大学大学院工学系研究科教授
委員: 松村 秀一 東京大学大学院工学系研究科教授
阿曾 香 (株)リクルート 住宅総研 主任研究員
田原 祐子 (株)ベーシック 取締役社長

◆応募資格

2009年1月1日～2009年12月31日に竣工実績(及びその予定)を持つ住宅シリーズ等

◆応募方法

財団法人日本地域開発センターホームページ(<http://www.jcadr.or.jp/>)より書式入手、事務所宛に送付下さい。

◆応募期間

2009年10月14日(水)～11月20日(金)

◆応募先及びお問い合わせ先

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック審査委員会事務局
財団法人日本地域開発センター 東京都港区虎ノ門1-11-7 第二文成ビル
TEL. 03-3501-6856 FAX. 03-3501-6855(<http://www.jcadr.or.jp/>)

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック 2008」選考結果

受賞者	商品名	申請地域	本社所在地
○大賞 2件			
株式会社 サンワホーム	無暖房住宅ハイパーエコシリーズ 0.7	Ⅱ	山梨県中巨摩郡 昭和町
	無暖房住宅ハイパーエコシリーズ 0.9	Ⅳ	
パナホーム株式会社	エルソーナ	Ⅳ	大阪府豊中市
○特別賞 8件 (*表示は、「地域賞」を併せ受賞。)			
株式会社 エコハウス	エコソーナ*	Ⅳ	神奈川県横浜市
株式会社 島野工務店	両断熱工法「凜」*	Ⅳ	栃木県小山市
大和ハウス工業株式会社	xevo シリーズ	Ⅰ・Ⅱ	大阪府大阪市
ツーベアホーム株式会社	ツーベアホーム ハイブリッドD*	Ⅲ	宮城県仙台市
トステム株式会社	“SUPER WALL STYLE/スマートパッケージ” (枠組壁工法)	Ⅰ・Ⅱ Ⅲ・Ⅳ	東京都江東区
株式会社 福地建装	ファースの家	Ⅳ	北海道北斗市
株式会社 北洲	北洲ハウジング アルセコ外張断熱	Ⅲ	宮城県黒川郡 富谷町
株式会社 松島組	シャーネッツi*	Ⅳ	徳島県吉野川市

*大賞、特別賞のみ表示。詳細は地域開発センターホームをご参照下さい。

<http://www.jcadr.or.jp/>

以 上